

監査報告書


令和2(2020)年5月26日


学校法人海星女子学院

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人海星女子学院

監事 荒井俊朗 

監事 西村繁秀 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人海星女子学院寄附行為第15条の規定に基づき、学校法人海星女子学院の平成31年度・令和元年度(2019年度)(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで(2019年4月1日から2020年3月31日まで))の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人海星女子学院の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。